



# 地域リーダーの皆様との 意見交換会

～ 地域で暮らしつつづけるために ～



# 本日のメニュー

## 1. テーマ説明（15分）

『地域で暮らしつつづけるために』

- （1）昨年度のご意見（参考）
- （2）移住・定住の取り組み
- （3）地域の困りごと

## 2. 意見交換（60分）



# 昨年度の主なご意見



コロナ禍におけるイベント開催に不安を感じる。  
このまま、自粛をつづけてよいのだろうか。

高齢者の外出や、交流の機会が減っていることに危機感を感じています。  
感染対策を十分にしていたただきながら、交流の機会を積極的に設けていたいただきたい。



# 昨年度の主なご意見



住民主体の通学路、河川等の  
除草作業は限界にきている。  
行政も考え方の見直しを。

これまでの考え方の見直しに着手。  
まずは令和4年度予算に反映。



道路安全対策	1億4,000万円⇒2億円
除草作業	2,600万円⇒6,300万円

# 昨年度の主なご意見



役員の担い手も減っており、区、自治会を維持できない。行政からの依頼（回覧、役員推薦）も多い。整理が必要では。

特に小規模な区・自治会は、これまでと同じ運営は難しいと聞いています。市からの依頼事項を整理するとともに、情報提供の方法なども検討に入ります。



# 昨年度の主なご意見



自治振興会と区・自治会の役割分担ができていない。  
行政は丸投げしているだけではないか。

自治振興会の立ち上げから10年が経過しており、その間の行政のサポート不足を反省しています。  
地域ごとで状況も異なることから、職員と一緒に検討させていただきたい。  
(地域別グラウンドデザイン)



# 昨年度の主なご意見



若者がいない。空き家活用、移住定住の取り組みを強化してほしい。

これまでも空き家バンク、奨学金支援や工業団地整備などを進めてきました。一方でコロナ禍において、全国各地で移住の取り組みが進むなか、行政だけでは限界も感じています。皆さまと協力しながら進めてまいります。



# 本日のメニュー

## 1. テーマ説明（15分）

『地域で暮らしつつづけるために』

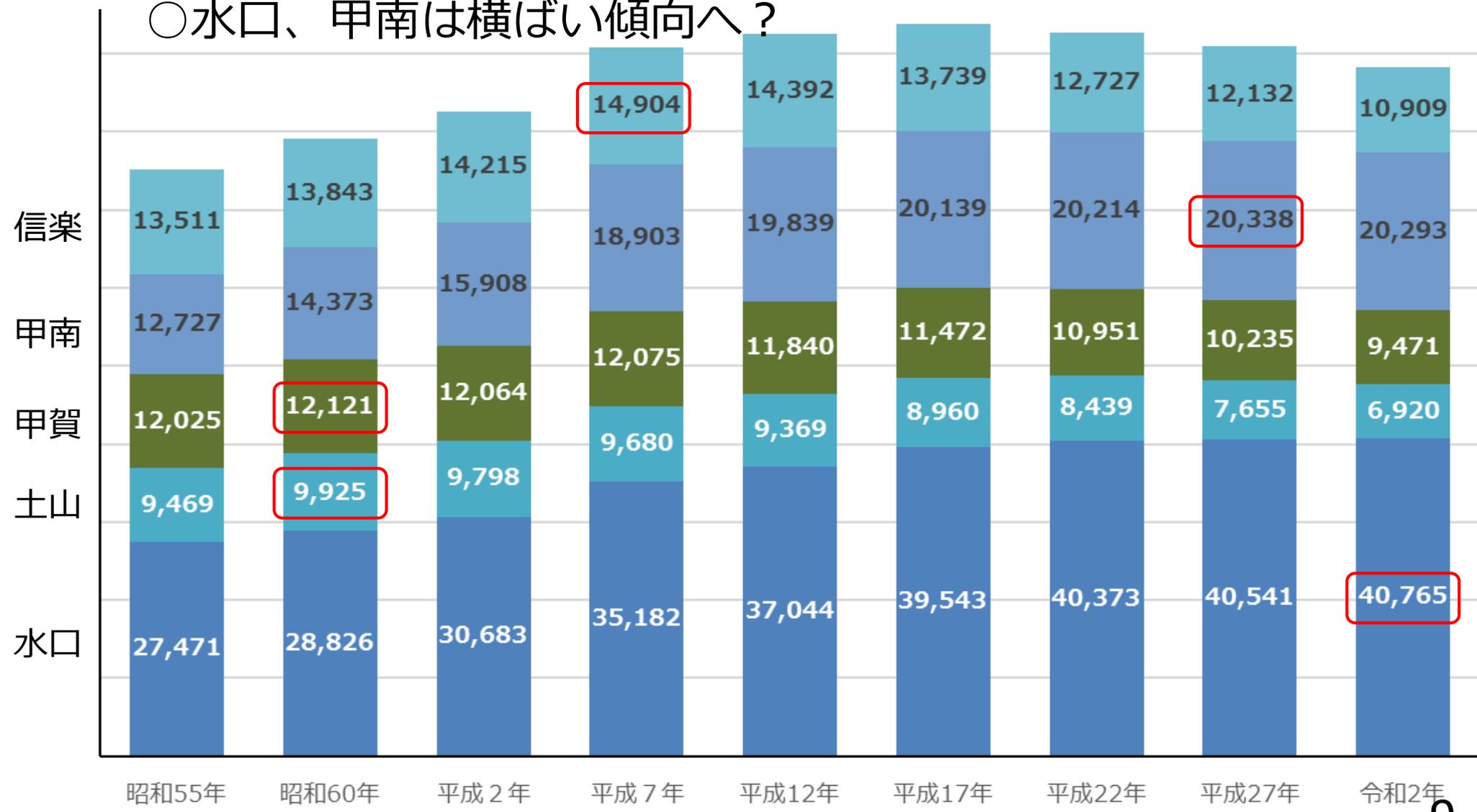
- (1) 昨年度のご意見（参考）
- (2) 移住・定住の取り組み
- (3) 地域の困りごと

## 2. 意見交換（60分）



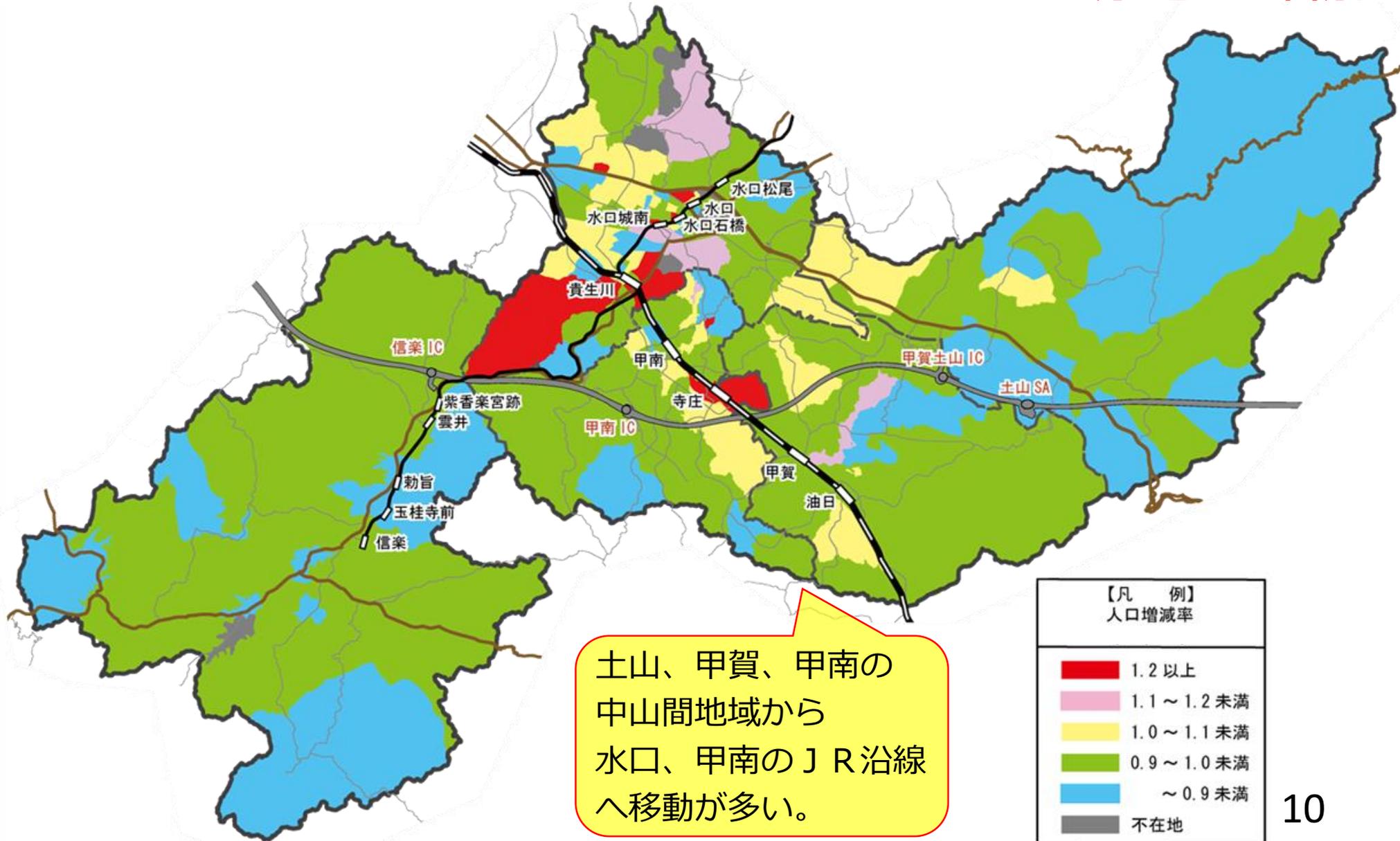
# 人口推移 (地域別)

○土山、甲賀は昭和60年、信楽は平成7年がピーク  
 ○水口、甲南は横ばい傾向へ？



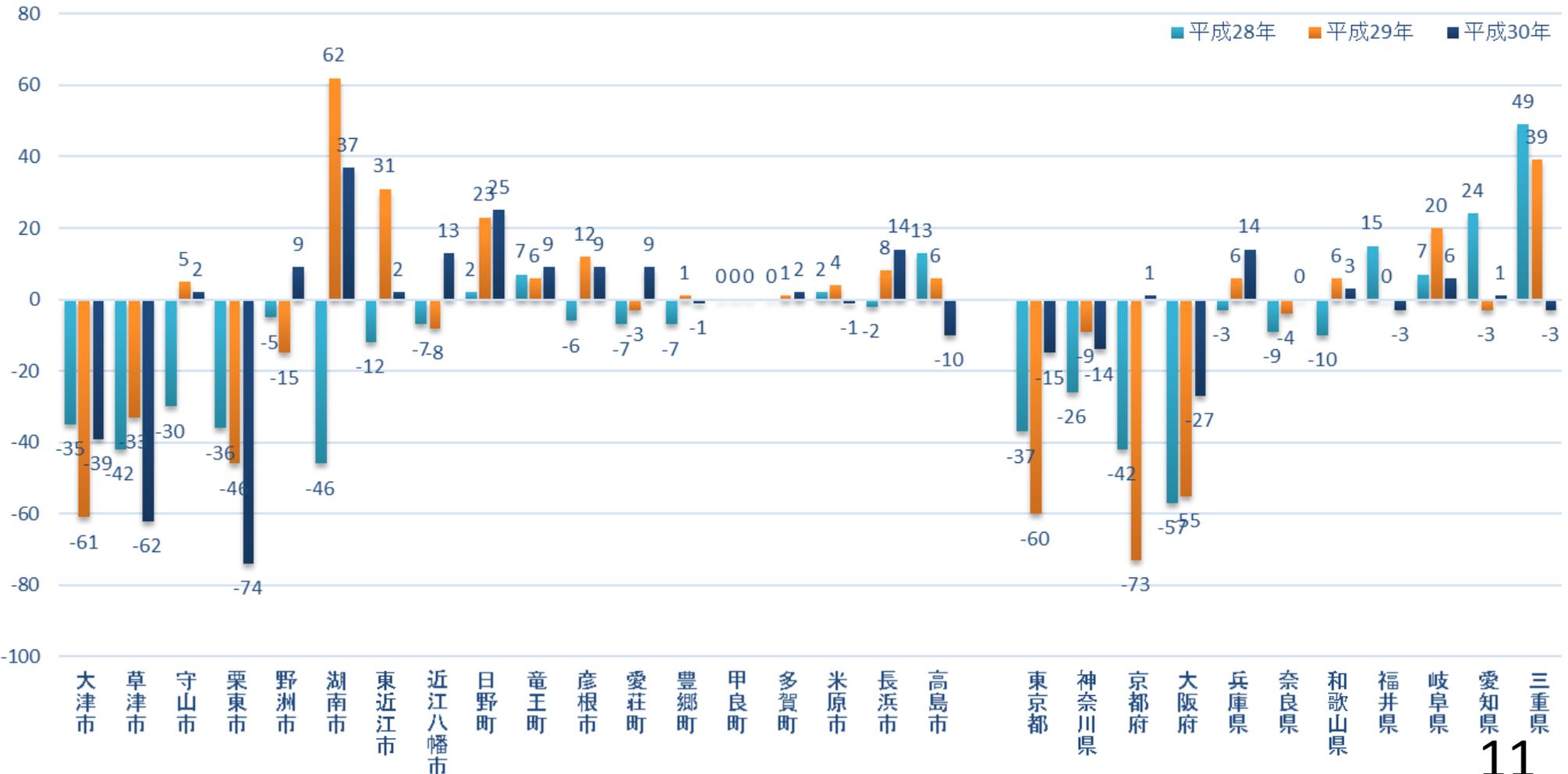
# 区、自治会別人口増減率

青色：減少  
赤色：増加



# どこから「ひと」が来て、どこに出て行くのか？

- 転入は湖南省、日野町、三重県からが多い。
- 転出は大津市、草津市、栗東市などJR琵琶湖線沿線への移動が多い。
- 京都、大阪への移動が県内の他市町と比べて割合が高い。



# 「自然動態」と「社会動態」

○「自然減」を止めることは難しい。

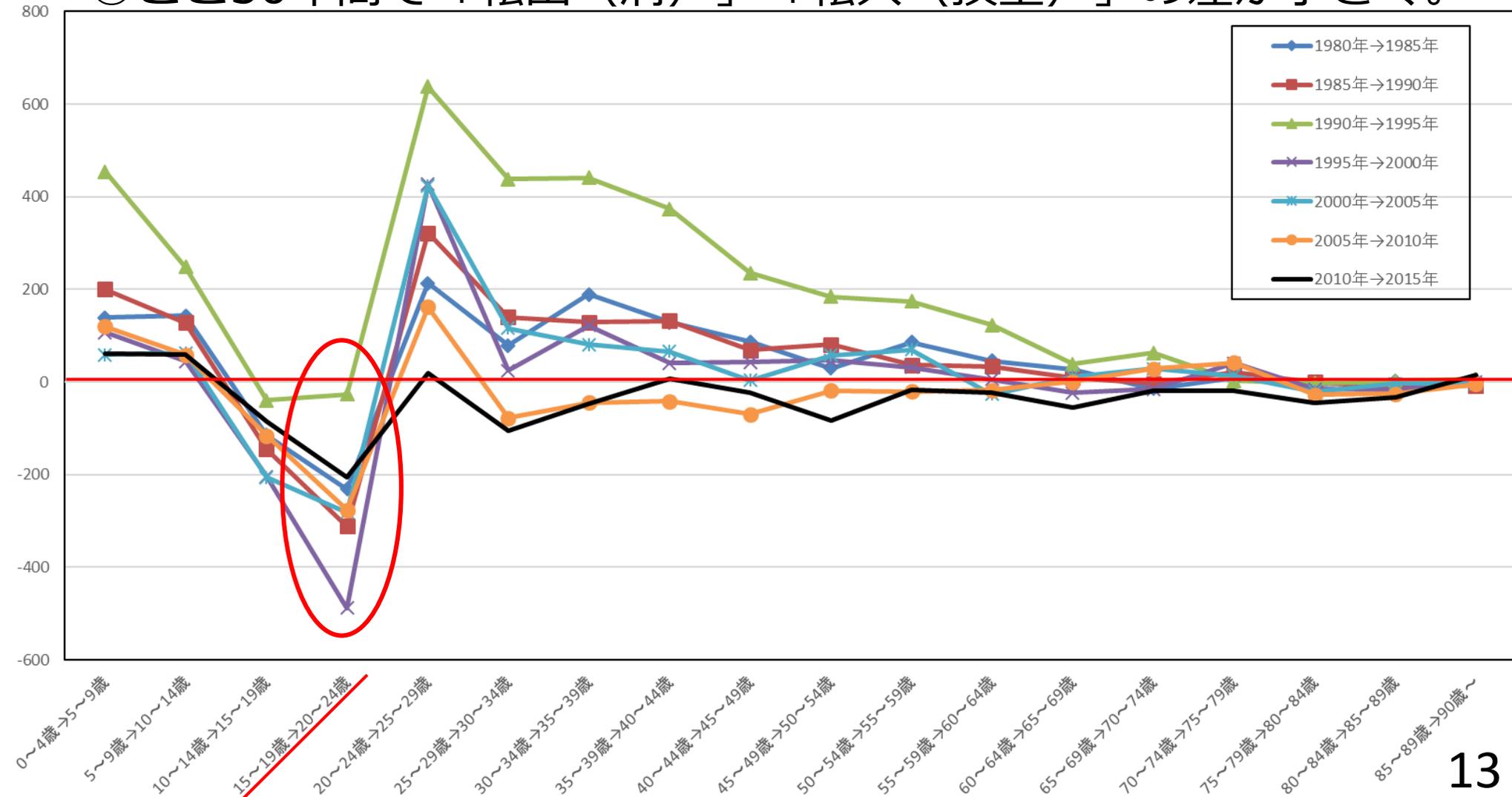
○今すぐできることは「社会減（移住定住）」対策

	自然動態（人）			社会動態（人）			合計（人）		
	出生数	死亡数	増減	転入者数	転出者数	増減	増加	減少	増減
平成16年度	802	791	11	2,839	2,936	-97	3,641	3,727	-86
平成17年度	793	752	41	2,503	2,588	-85	3,296	3,340	-44
平成18年度	799	790	9	2,779	2,901	-122	3,578	3,691	-113
平成19年度	790	805	-15	2,464	2,664	-200	3,254	3,469	-215
平成20年度	819	843	-24	2,743	2,676	67	3,562	3,519	43
平成21年度	766	829	-63	2,205	2,731	-526	2,971	3,560	-589
平成22年度	735	884	-149	2,354	2,451	-97	3,089	3,335	-246
平成23年度	728	924	-196	2,377	2,557	-180	3,105	3,481	-376
平成24年度	763	929	-166	2,675	2,878	-203	3,438	3,807	-369
平成25年	760	897	-137	2,836	3,074	-238	3,596	3,971	-375
平成26年	721	850	-129	2,802	3,050	-248	3,523	3,900	-377
平成27年	692	935	-243	2,907	3,193	-286	3,599	4,128	-529
平成28年	679	910	-231	3,189	3,414	-225	3,868	4,324	-456
平成29年	674	970	-296	2,970	2,978	-8	3,644	3,948	-304
平成30年	653	934	-281	3,131	3,278	-147	3,784	4,212	-428
令和元年	622	885	-263	3,082	3,083	-1	3,704	3,968	-264
令和2年	619	947	-328	2,954	3,115	-161	3,573	4,062	-489

しばらく減り続ける

# 年齢階級別 人口移動（男性）

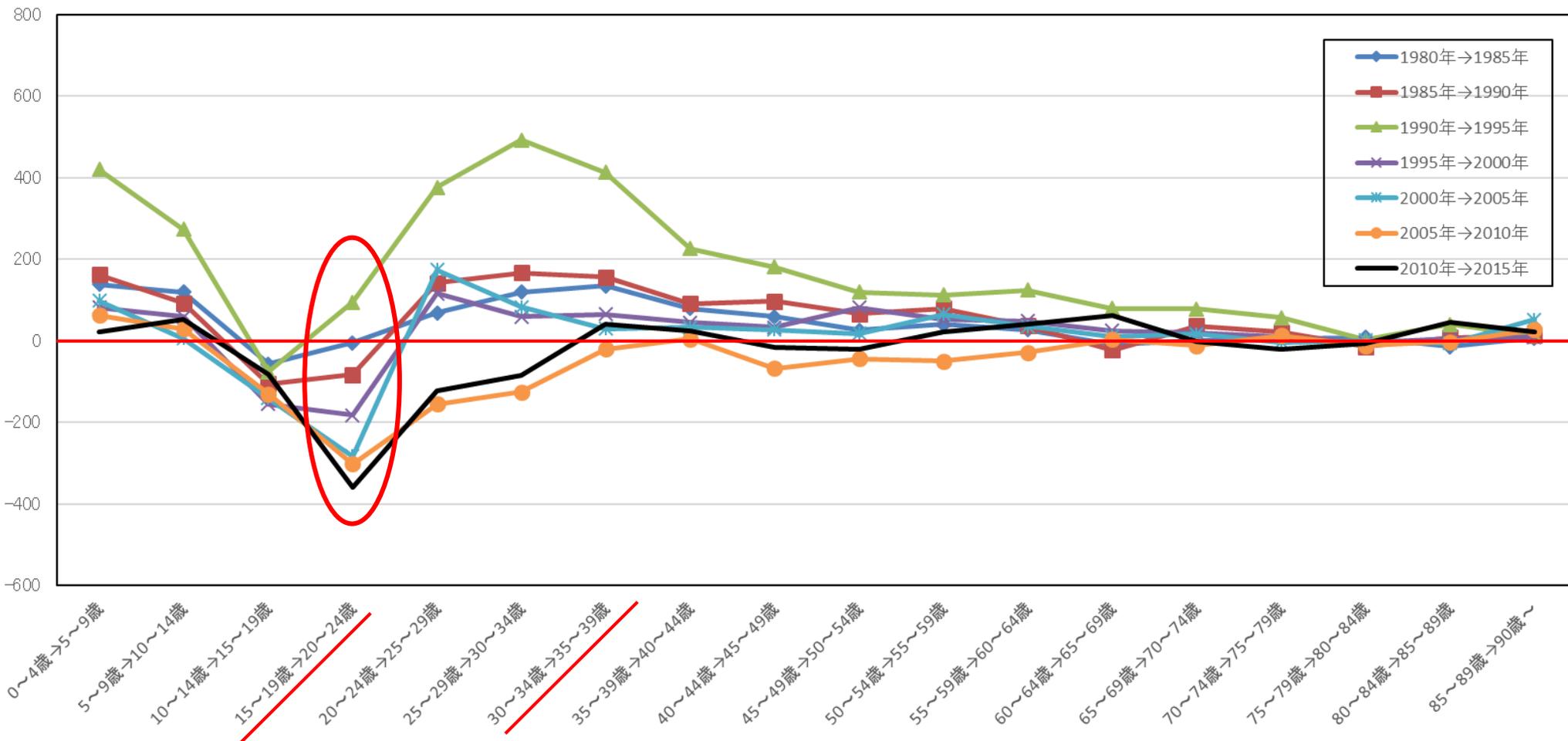
- 18歳の進学・就職時に転出、20～24歳にUターン傾向。
- 過去、団塊ジュニア世代の転出が最大。
- ここ30年間で「転出（溝）」「転入（頂上）」の差が小さく。



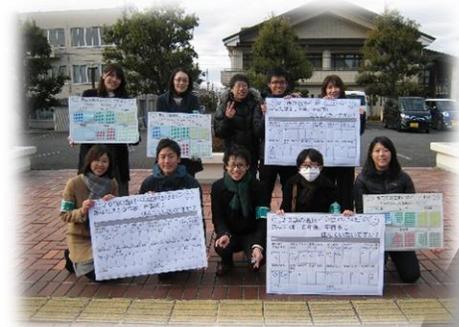
# 年齢階級別 人口移動（女性）

○18歳の進学・就職時の転出は年々増加。

○男性との大きな違いは「就職時にUターン」しないこと。



# 10年後も甲賀市に住んでいたいですか（成人式）



いいえ  
39.6%

しがらみ・つきあいが大変  
2.2%

住むところがない  
0.7%

交通が便利  
1.1%

働く場所・学校がない  
16.3%

都会が好き  
3.7%

愛着がない  
2.6%

交通が不便  
13.0%

課題は  
1.しごと  
2.交通

その他  
1.1%

働く場所・学校がある  
13.0%

住むところがある  
8.9%

家族・友人がいる  
6.7%

愛着がある  
21.5%

その他  
1.1%

自然・田舎が好き  
8.1%

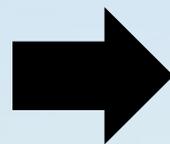
6割は甲賀市に住んでいたいけど...

はい  
60.4%



# 移住

別の地から移り住むこと



# 定住

永続的に暮らしてつづけること

## 移住のタイプ

Uターン：都市部に進学、就職した人が、戻ってくること

Iターン：都市から田舎に移り住むこと

Jターン：都市部に進学、就職した人が、近くの町に戻ってくること

「移住者」を呼び込むことは大切。

「定住者」はそれ以上に大切。

「親や親せきの土地や家がある」

「友人、知人がいる」「職場／会社がある」

**「つながり（縁）」のある人をターゲットに**

# 甲賀市の取り組みは他市に負けていません。

## ゴミバス 無料乗車券



75歳以上

- 高齢者、障害者 負担軽減
- 交通事故⇒免許返納促進

## 奨学金返還



- 保育士の奨学金、宿舍支援
- 市内企業への就職者

・保育士  
・市内就職

## 移動販売モデル



- 移動販売車が地域を巡回（83か所）
- 生鮮食料品(肉、魚、野菜)
- 惣菜、菓子、日用品など200品目

中学3年まで

## 子育て応援医療

- 中学3年生まで入院、通院とも無料に 17



## ごみ排出支援 おむつ等支給



- ごみ集積所までの排出が難しい方を対象
- 自宅前のごみを戸別収集



- 1歳までの育児用品の支給（月1回）
- 自宅訪問による見守り、相談

## 市街化調整区域 の規制緩和



- 農家、分家に限らず住宅建築が可能に
- 戸建て空き家の賃貸も可能に

# 移住定住モデル地域支援制度 **新規**

## 1. 目的

- 増加する空き家の流通（掘り起こし）や活用
- 移住者の受け入れの機運の向上
- 都市部への情報発信

## 2. 地域条件

- 中山間地域（人口集中地域（D I D地域）以外）
- 人口減少率が市全体の平均以下の地域

## 3. 支援概要

- (1) 地域提案型事業
- (2) 集落の教科書
- (3) 空き家購入補助
- (4) 空き家引っ越し支援
- (5) お試し居住施設の改修

市と地域で「一緒に」取り組む、新しいタイプの協働提案制度です。  
(例) 移住サポーターの任命  
移住ツアー、移住セミナー  
区・自治会ごとの移住相談会  
相続相談会 など

## 4. スケジュール

- 6月 モデル地域の募集開始
- 7月 モデル地域の認定（～取り組み開始）

# 本日のメニュー

## 1. テーマ説明（15分）

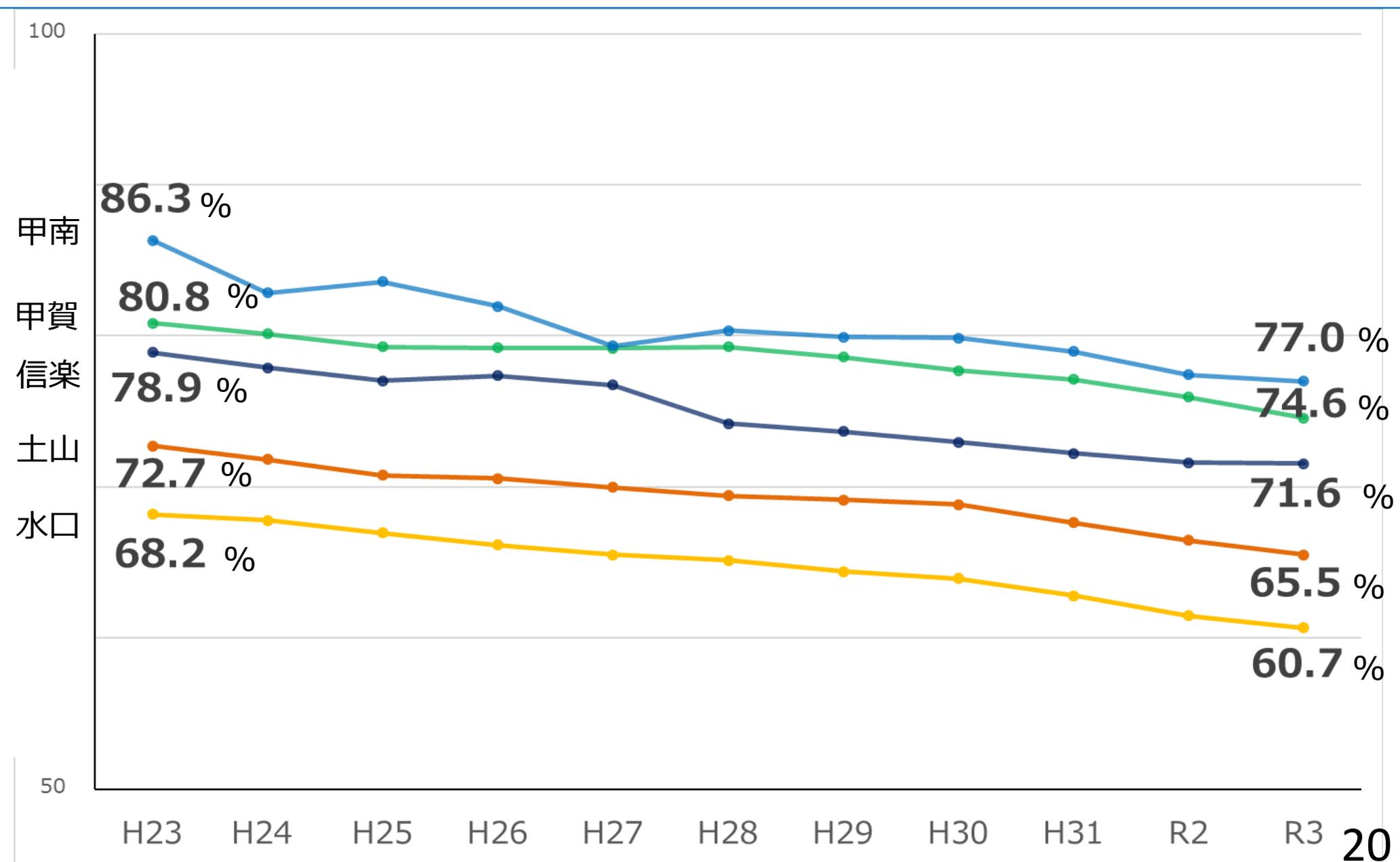
『地域で暮らしつづけるために』

- (1) 昨年度のご意見（参考）
- (2) 移住・定住の取り組み
- (3) 地域の困りごと

## 2. 意見交換（60分）



# 区・自治会加入率の推移



# 若者が地方に戻らない理由

- 1位 都市で暮らしを気に入っている (51%)
- 2位 やりたい仕事が少ないから (44%)
- 3位 買い物など生活の利便性が低いから (41%)
- 4位 収入が低いから (27%)
- 5位 人間関係が閉鎖的だから (24%)

特に女性が男性  
を大きく上回る



# 若者（移住者）が抱く「中山間地域」のイメージ

1. 人間関係が濃密で「つながり」が強い。
2. 歴史や伝統、義理や人情が大切にされている。
3. 規律や道徳、面子を重んじる雰囲気がある。

マイナス、ネガティブなだけの価値観ではありません。  
むしろ、地域、人にとって大切な価値観です！

しかし、それが若者、女性、移住者に強く打ち出されると  
「若者」「女性」「移住者」の転出意向を高め、  
都会に出て行った若者のUターン意向が下がる。

逆に、地域社会を「寛容」だと感じる人が多いほど  
定住意向が高く、移住者の定着率も高い。

# 移住者が「失敗した」と思ったこと

1. 思っていたより不便だった
2. 遊ぶ場所がない
3. 地元に溶け込めない
4. 仕事がない（収入減）
5. 住まいの失敗（空き家が住みにくい）
6. 思ったより生活費がかかる。
7. 学習環境がのんびり（受験に不利）
8. 医療機関が遠い
9. 虫、野生動物が多い。
10. 雪や寒さなど気候が想像以上に厳しい。

その他の「具体的な意見」は・・・。

# 地域住民／移住者の意見

地域住民



移住した人が、区・自治会費を負担をしてくれない。  
ゴミは出すのに。

移住者



そもそも区費って何ですか？  
都会では無かったのに。  
なぜ、こんなに高いんでしょうか。

- 都市部では、区・自治会費を支払う文化や習慣がない場合があります。
- 区・自治会活動の「メリット」や「魅力」、会費の「使い道」を丁寧に伝えてみましょう。

# 市内でも区・自治会費に大きな差（があるようです）

36,000 円/年（3,000円/月）

6倍以上の差

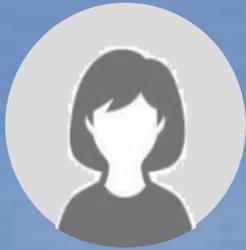
他にも、中山間地域では  
社寺費（神輿、曳山の保存費）  
後援会費、●●を守る会、水利費など

6,000 円/年（500円/月）



# 地域住民／移住者の意見

地域住民



草刈りや河川掃除など、手伝ってくれるのかな。

移住者



地域の人と馴染むために、ボランティア活動には参加します。あまりに多いとツライのですが。。。

- 特に若い移住者は仕事（土日や夜勤）もあり、毎回参加できるとは限りません。
- できる範囲の参加を認めるなど、あたたかく見守る必要があります。

# 地域住民／移住者の意見

地域住民



全然知らない人が移住してくるのは不安。顔なじみなど知っている人だといいいけど。

移住者



地域のルールもわからないし、知っている人もいないから不安。誰か相談に乗ってほしいな。

- 地域住民も、移住者もお互い不安です。
- 役員さんや組長さんなど、普段から気軽に相談できる「おせっかい担当」を決めましょう。

# 地域住民／移住者の意見

地域住民



空き家はたくさんあるけど、  
修繕しないと住めないと思う。  
所有者の意向もわからないし。

移住者



自由に使える（修繕）空き家を探して  
います。格安で貸してほしいのですが、  
不動産サイトでは見つかりません。

- 空き家は1年で水回りからダメになります。  
市と地域でタッグを組んで、所有者の意向  
を確認してみませんか。

# 「空き家バンク」制度の活用

NO	地区	空家等 候補 (戸)	空家等判定結果(戸)					世帯数 ※3	空家等/ 世帯数
			空家等と判定			居住中 /建築中 /空地等	調査不可 ※2		
			空家等	判定不可 ※1	計				
1	水口町	780	179	236	415	359	6	15,705	2.6%
2	土山町	279	113	93	206	73	0	2,852	7.2%
3	甲賀町	307	83	117	200	107	0	3,484	5.7%
4	甲南町	397	103	151	254	130	13	7,641	3.3%
5	信楽町	532	84	207	291	222	19	4,883	6.0%
	合計	2,295	562	804	1,366	891	38	34,565	4.0%

うち6割は活用可能？

今は地域の  
「マイナスの財産」

「活用」「移住」など  
あるものを活かして  
「プラスの財産」へ

# 地域住民／移住者の意見

地域住民



耕作放棄地も増えている。  
住民も減っている。  
こんな地域に住みたい人などいない。

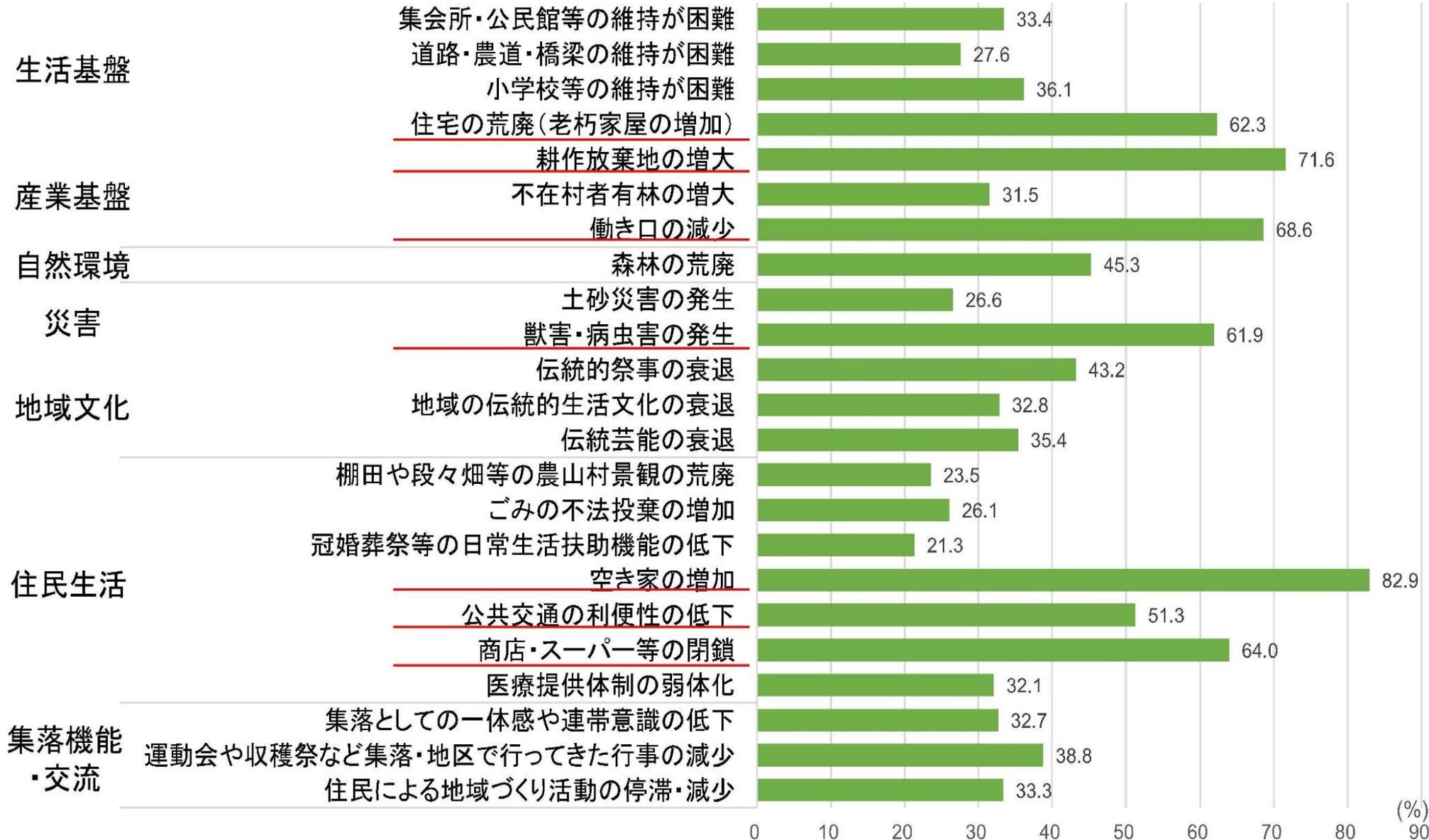
移住者



便利な田舎でゆっくり暮らしたい。  
おじいちゃんのお家も田んぼもある。

- 私たちの地域には、住民が気付いていない魅力がたくさんあります。
- 美しい田園風景や伝統文化を守り、子どもや孫のためにできることがあるはずです。

# 地域の困りごと



地域の困りごと = 行政の困りごと

# 若者、女性の移住、定住を進めるために

## 1. 「ゆるやか」につながる（参加できる）

⇒大きな負担をかけ過ぎず、できる範囲で。

## 2. 地域の役職、委員、行事などの見直し

⇒時代にあった役割やイベント。行政からの依頼も見直します。

## 3. 区・自治会活動の認知度、魅力のアップ

⇒若者の生意気、失敗を大目にみる。女性の頑張りを応援する空気感。

定住者も移住者も「寛容性」を求めています。

（排斥することなく、心広く、おおらかに受け入れる）